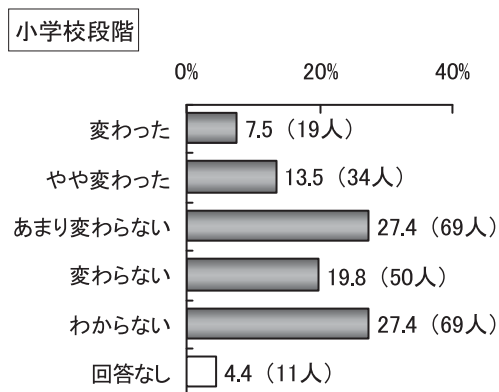


(9) 特殊教育制度から特別支援教育制度になっての変化 (Ⅲ問12) (Ⅲ問1×問12)

特殊教育制度から特別支援教育制度になっての変化を尋ねたところ、「変わった(「変わった」及び「やや変わった」の合計)」が21.0% (53人)、「変わらない(「あまり変わらない」及び「変わらない」の合計)」が47.2% (119人)、「わからない」が27.4% (69人)であった。

また、特殊教育制度から特別支援教育制度になっての変化について、通っている学校・学級別に見ると、「小学校の通常学級」及び「小学校の特別支援学級」では「変わらない」がそれぞれ42.3% (14人)、23.6% (8人)と最も多く、「小学校の通常学級と通級による指導」では「わからない」が48.0% (11人)と最も多く、「特別支援学校小学部」では「あまり変わらない」が32.3% (49人)と最も多かった。

特殊教育制度から特別支援教育制度になっての変化



回答者数 252人

特殊教育制度から特別支援教育制度になっての変化 (現在通っている学校・学級別) (Ⅲ問1×問12)

	変わった	やや変わった	あまり変わらない	変わらない	わからない	回答なし	合計
小学校の通常学級	6 18.2	4 12.1	5 15.2	14 42.3	2 6.1	2 6.1	33 100.0
小学校の通常学級と通級による指導	1 4.3	1 4.3	5 21.7	3 13.0	11 48.0	2 8.7	23 100.0
小学校の特別支援学級	2 5.9	6 17.6	7 20.6	8 23.6	8 23.5	3 8.8	34 100.0
特別支援学校小学部	9 5.9	23 15.1	49 32.3	23 15.1	45 29.6	3 2.0	152 100.0
その他	1 12.5	0 0.0	3 37.5	2 25.0	1 12.5	1 12.5	8 100.0
回答なし	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0	0 0.0	2 100.0
合計	19 7.5	34 13.5	69 27.4	50 19.8	69 27.4	11 4.4	252 100.0

(10) 特別支援教育制度になって変化したこと (現在通っている学校・学級別) (複数回答) (Ⅲ問1×問13)

問12で「変わった」又は「やや変わった」と回答した人に、何が変わったかを尋ねたところ、

「一人ひとりのニーズに応じた教育支援が行われるようになった」が50.9% (27人) と最も多く、次いで「教育、医療、福祉など様々な機関が連携するようになった」が41.5% (22人)、「障害に対する教員（学校）の理解が深まった」が24.5% (13人) であった。

また、変わった内容について、通っている学校・学級別に見ると、「小学校の通常学級」では「一人ひとりのニーズに応じた教育支援が行われるようになった」と「障害に対する教員（学校）の理解が深まった」がともに40.0% (4人) と最も多くなっている。「小学校の通常学級と通級による指導」では「一人ひとりのニーズに応じた教育支援が行われるようになった」、「教育、医療、福祉など様々な機関が連携するようになった」、「障害に対する教員（学校）の理解が深まった」がいずれも50.0% (1人) と最も多くなっている。「小学校の特別支援学級」では「障害に対する教員（学校）の理解が深まった」が50.0% (4人) と最も多く、次いで「一人ひとりのニーズに応じた教育支援が行われるようになった」と「教育、医療、福祉など様々な機関が連携するようになった」がともに37.5% (3人) となっている。「特別支援学校小学部」では「一人ひとりのニーズに応じた教育支援が行われるようになった」が56.3% (18人) と最も多く、次いで「教育、医療、福祉など様々な機関が連携するようになった」が53.1% (17人)、「その他」が21.9% (7人) となっている。

特別支援教育制度になって変化したこと（現在通っている学校・学級別）（複数回答）

	一人ひとりのニーズに応じた教育支援が行われるようになった	教育、医療、福祉など様々な機関が連携するようになった	教員の専門性が高まった	乳幼児期から学校卒業後まで一貫した教育支援が行われるようになった	障害に対する教員（学校）の理解が深まった	障害に対する他の子どもや保護者の理解が深まった	その他	回答なし	回答者数
小学校の通常学級	4 40.0	1 10.0	1 10.0	0 0.0	4 40.0	0 0.0	5 50.0	0 0.0	10 100.0
小学校の通常学級と通級による指導	1 50.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	2 100.0
小学校の特別支援学級	3 37.5	3 37.5	2 25.0	0 0.0	4 50.0	1 12.5	2 25.0	0 0.0	8 100.0
特別支援学校小学部	18 56.3	17 53.1	5 15.6	4 12.5	4 12.5	2 6.3	7 21.9	1 3.1	32 100.0
その他	1 100.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 100.0
合計	27 50.9	22 41.5	8 15.1	4 7.5	13 24.5	3 5.7	14 26.4	1 1.9	53 100.0

(11) 問14特別支援教育コーディネーターの配置状況（Ⅲ問14）

現在通っている学校に特別支援教育コーディネーターが配置されているか尋ねたところ、「配置されている」が52.4% (132人) と最も多く、「わからない」が32.9% (83人) であった。

問14 特別支援教育コーディネーターの配置状況

配置されている	配置されていない	わからない	回答なし	合計
132	23	83	14	252
52.4	9.1	32.9	5.6	100.0

(12) 特別支援教育コーディネーターへの相談経験（Ⅲ問15）

問14で「配置されている」と回答した人のうち、特別支援教育コーディネーターに「相談したことがある」と回答した人は40.9%（54人）であったのに対して、「相談したことがない」と回答した人は57.6%（76人）であった。

特別支援教育コーディネーターへの相談経験

相談したことがある	相談したことがない	回答なし	合計
54	76	2	132
40.9	57.6	1.5	100.0

(13) 特別支援教育コーディネーターに相談しての教育内容の改善（Ⅲ問16）

問15で「相談したことがある」と回答した人に、相談して教育内容が改善されたか尋ねたところ、“改善された（「改善された」及び「やや改善された」の合計）”が64.8%（35人），“改善されない（「あまり改善されない」及び「改善されない」の合計）”が31.5%（17人）となった。

特別支援教育コーディネーターに相談しての教育内容の改善

改善された	やや改善された	あまり改善されない	改善されない	回答なし	合計
15	20	8	9	2	54
27.8	37.0	14.8	16.7	3.7	100.0

(14) 特別支援教育コーディネーターに相談しない理由（複数回答）（Ⅲ問17）

問15で「相談したことがない」と回答した人の相談しない理由を見ると、「学級担任に相談しているから」が63.2%（48人）と最も多くなっている。

特別支援教育コーディネーターに相談しない理由（複数回答）

学級担任に相談しているから	誰が特別支援教育コーディネーターなのかかわからないから	相談しても改善されないと思うから	その他	回答なし	合計
48	1	6	19	2	76
63.2	1.3	7.9	25.0	2.6	100.0

(15) 校内委員会の設置状況（Ⅲ問18）

現在通っている学校に校内委員会が設置されているか尋ねたところ、「設置されている」が28.2%（71人）、「わからない」が57.6%（145人）であった。

校内委員会の設置状況

設置されている	設置されていない	わからない	回答なし	合計
71	19	145	17	252
28.2	7.5	57.6	6.7	100.0

(16) 「個別の教育支援計画」又は「個別の指導計画」の作成状況（Ⅲ問19）

「個別の教育支援計画」又は「個別の指導計画」の作成状況を尋ねたところ、「『個別の教育支援計画』と『個別の指導計画』の両方が作成されている」が32.1%（81人）と最も多く、次いで「『個別の指導計画』が作成されている」が19.4%（49人）、「『個別の教育支援計画』が作成されている」が17.9%（45人）であった。

「個別の教育支援計画」又は「個別の指導計画」の作成状況

「個別の教育支援計画」が作成されている	「個別の指導計画」が作成されている	「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の両方が作成されている	作成されていない	わからない	回答なし	合計
45	49	81	13	55	9	252
17.9	19.4	32.1	5.2	21.8	3.6	100.0

(17) 「個別の教育支援計画」又は「個別の指導計画」の作成への参加（Ⅲ問20）

問19で「個別の教育支援計画」又は「個別の指導計画」、もしくはその両方が「作成されている」と回答した人に、作成への参加状況を尋ねたところ、“参加した（「よく参加した」及び「まあまあ参加した」の合計）”が70.3%（123人）、“参加していない（「あまり参加していない」及び「参加していない」の合計）”が28.0%（49人）であった。

「個別の教育支援計画」又は「個別の指導計画」の作成への参加

よく参加した	まあまあ参加した	あまり参加していない	参加していない	回答なし	合計
47	76	27	22	3	175
26.9	43.4	15.4	12.6	1.7	100.0

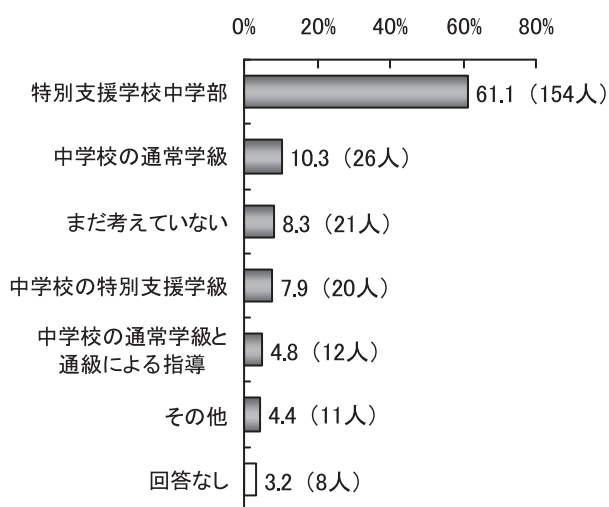
(18) 中学校段階の希望進学先（現在通っている学校・学級別）（Ⅲ問21×問1）

中学校段階の進学先を現在在籍している学校・学級別に見てみると、現在「特別支援学校小学部」に在籍している人では、「特別支援学校中学部」を希望する回答が92.7%（141人）と最も多く、現在「小学校の通常学級」に在籍している人は、「中学校の通常学級」を希望する回答が48.4%（16人）と最も多い。

中学校段階の希望進学先（現在在籍している学校・学級別）

	中学校の通常学級	中学校の通常学級と通級による指導	中学校の特別支援学級	特別支援学校中学部	まだ考えていない	その他	回答なし	合計
小学校の通常学級	16 48.4	5 15.2	3 9.1	1 3.0	4 12.1	2 6.1	2 6.1	33 100.0
小学校の通常学級と通級による指導	6 26.2	5 21.7	1 4.3	3 13.0	6 26.1	0 0.0	2 8.7	23 100.0
小学校の特別支援学級	1 2.9	2 5.9	14 41.3	8 23.5	5 14.7	3 8.8	1 2.9	34 100.0
特別支援学校小学部	3 2.0	0 0.0	1 0.7	141 92.7	4 2.6	2 1.3	1 0.7	152 100.0
その他	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 12.5	2 25.0	4 50.0	1 12.5	8 100.0
回答なし	0 0.0	0 0.0	1 50.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 50.0	2 100.0
合計	26 10.3	12 4.8	20 7.9	154 61.1	21 8.3	11 4.4	8 3.2	252 100.0

中学校段階の希望進学先



回答者数 252人

(19) 進学先の希望理由（希望している進学先別）（複数回答）（Ⅲ問21×問22）

問22で回答した学校を進学先として考えている理由を見ると、「一人ひとりのニーズに合った教育支援が受けられるから」が41.3% (104人) と最も多く、次いで「障害に理解のある先生がいるから」が26.6% (67人)、「仲のよい友達と同じ学校だから」が21.4% (54人) となっている。

また、進学先として考えている理由について、学校ごとの内訳を見てみると、「中学校の特別支援学級」及び「特別支援学校中学部」では、「一人ひとりのニーズに合った教育支援が受けら

れるから」(それぞれ30.0% (6人)、59.7% (92人))が高い割合であるのに対し、「中学校の通常学級」及び「中学校の通常学級と通級による指導」では、「地域との結びつきがあるから」(それぞれ57.7% (15人)、58.3% (7人))が高くなっているのが見受けられる。

進学先の希望理由(希望している進学先別)(複数回答)

①

	一人ひとりのニーズに合った教育支援が受けられるから	担任や学校のすすめにより	本人が情報を集めて希望しているから	親が情報を集めて希望しているから	地域との結びつきがあるから	希望する学校への進学だから	同じ学校にきょうだいが通っているから
中学校の通常学級	1 3.8	3 11.5	4 15.4	6 23.1	15 57.7	7 26.9	6 23.1
中学校の通常学級と通級による指導	0 0.0	0 0.0	0 0.0	3 25.0	7 58.3	0 0.0	2 16.7
中学校の特別支援学級	6 30.0	1 5.0	1 5.0	4 20.0	6 30.0	1 5.0	2 10.0
特別支援学校 中学校部	92 59.7	5 3.2	2 1.3	26 16.9	7 4.5	26 16.9	0 0.0
まだ考えていない	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	1 4.8	0 0.0	0 0.0
その他	5 45.5	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0	0 0.0	0 0.0
回答なし	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0
合計	104 41.3	10 4.0	7 2.8	40 15.9	36 14.3	34 13.5	10 4.0

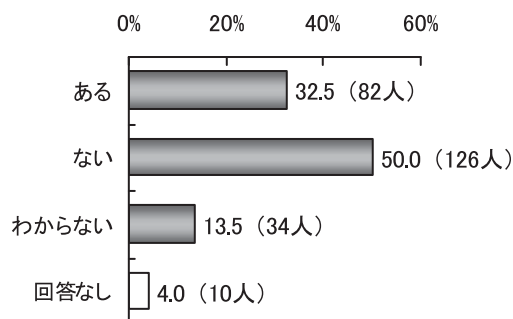
②

	仲のよい友達と同じ学校だから	障害に理解のある先生がいるから	通学が便利だから	その他	回答なし	回答者数
中学校の通常学級	11 42.3	1 3.8	13 50.0	2 7.7	1 3.8	26 100.0
中学校の通常学級と通級による指導	7 58.3	2 16.7	5 41.7	0 0.0	1 8.3	12 100.0
中学校の特別支援学級	6 30.0	1 5.0	9 45.0	3 15.0	0 0.0	20 100.0
特別支援学校 中学校部	28 18.2	60 39.0	20 13.0	36 23.4	1 0.6	154 100.0
まだ考えていない	2 9.5	0 0.0	2 9.5	1 4.8	18 85.7	21 100.0
その他	0 0.0	3 27.3	0 0.0	3 27.3	4 36.4	11 100.0
回答なし	0 0.0	0 0.0	0 0.0	0 0.0	8 100.0	8 100.0
合計	54 21.4	67 26.6	49 19.4	45 17.9	33 13.1	252 100.0

(20) 進学先の選択での悩みの有無 (Ⅲ問23)

進学先を選択するに当たって悩んでいることが「ある」と回答した人は32.5% (82人)であったのに対して、「ない」と回答した人は50.0% (126人)であった。

進学先の選択での悩みの有無



回答者数 252人

(21) 進学先の選択で悩んでいる理由 (複数回答) (Ⅲ問24)

問23で「ある」と回答した人の悩んでいる理由を見ると、「勉強についていけないかどうか心配だから」が34.1% (28人)と最も多く、次いで「自分の適性が分からないから」が31.7% (26人)、「進路が決まっていないから」が20.7% (17人)となっている。

進学先の選択で悩んでいる理由 (複数回答)

①

進路が決まっていないから	自分の適性が分からないから	希望する進路先についての情報が無いから	将来希望している職業についての情報が無いから	相談にのってくれる人がいないから	勉強についていけないかどうか心配だから
17	26	8	15	6	28
20.7	31.7	9.8	18.3	7.3	34.1

②

進みたい進路について家族と意見が合わないから	進みたい進路について先生と意見が合わないから	進みたい進路についての情報の集め方が分からないから	その他	回答なし	回答者数
3	2	7	37	2	82
3.7	2.4	8.5	45.1	2.4	100.0

(22) 進学先の選択に当たって学校で指導してほしいこと (複数回答) (Ⅲ問25)

問23で「ある」と回答した人に、進学先を選択するに当たって、学校で指導してほしいこと、又は学校に対する要望を尋ねたところ、「職場見学、上級学校訪問などの体験学習」が34.1% (28人)と最も多く、次いで「進路指導に詳しい外部専門家の巡回相談」が32.9% (27人)、「希望している進路先に関する情報の収集」が29.3% (24人)であった。

進学先の選択に当たっての学校で指導してほしかったこと（複数回答）

職場見学、上級学校訪問などの体験学習	社会人や職業人による講演・講話	ホームルーム活動などでの自らの生き方に関する進路学習	学校の先生の助言	進路指導に詳しい外部専門家の巡回相談	希望している進路先に関する情報の収集	将来希望している職業に関する情報の収集	学校の先生の進路指導についての理解	その他	回答なし	回答者数
28 34.7	12 14.6	16 19.5	17 20.7	27 32.9	24 29.3	16 19.5	21 25.6	12 14.6	20 24.4	82 100.0

(23) 進学先の選択で悩んでいない理由（複数回答）（Ⅲ問26）

問23で「ない」と回答した人の悩んでいない理由を見ると、「進路が決まっているから」が43.7%（55人）と最も多く、次いで「進路を決めるまでにまだ時間があるから」が24.6%（31人）、「自分の適性が分かっているから」が15.9%（20人）となっている。

進学先の選択で悩んでいない理由（複数回答）

進路が決まっているから	自分の適性が分かっているから	学校が進路先を決めてくれると思うから。	家族が進路先を決めてくれると思うから。	進路を決めるまでにまだ時間があるから	その他	回答なし	回答者数
55 43.7	20 15.9	0 0.0	12 9.5	31 24.6	18 14.3	15 11.9	126 100.0

(24) 進学先が決まった契機（複数回答）（Ⅲ問27）

問26で「進路が決まっているから」又は「自分の適性が分かっているから」と回答した人に、そのきっかけを尋ねたところ、「家族の助言」が30.3%（20人）と最も多く、次いで「卒業生の体験談と助言」が16.7%（11人）となっている。

進学先が決まった契機（複数回答）

職場見学、上級学校訪問などの体験学習	社会人や職業人による講演・講話	ホームルーム活動などでの自らの生き方に関する進路学習	学校の先生の助言	家族の助言	卒業生の体験談と助言	進路相談に詳しい外部専門家の巡回相談	テレビや本などの情報から	その他	回答なし	回答者数
5 7.6	3 4.5	3 4.5	9 13.6	20 30.3	11 16.7	1 1.5	3 4.5	29 43.9	5 7.6	66 100.0